

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-1 医療機能の確保
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	医療政策課長 家本 賢	電話番号	0852-22-6252
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	県西部地域の医療を充実させる事業		
目的	(1) 対象	医療機関	
	(2) 意図	県西部における中核的役割を担う医療機関の医療機能を確保する。	
事業概要	県西部における中核的役割を担う医療機関の施設設備の整備への支援や、県西部の各医療圏において地域保健医療医療対策会議を設置し、医療提供体制についての協議を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	県西部地域の救急告示病院数	目標値	7.00	7.00	
	式・定義	県西部地域の救急告示病院数	実績値	7.00	7.00	7.00		
			達成率	100.00	100.00	100.00		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			県西部地域の地域医療拠点病院数	目標値	9.00	9.00	9.00	
	式・定義	県西部地域の地域医療拠点病院数	実績値	9.00	9.00	9.00		
			達成率	100.00	100.00	100.00		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	206	1,005
うち一般財源(千円)	103	503

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・県西部における救急告示病院や、（無医地区等での巡回診療や医師・看護師等の派遣など地域住民の医療確保を目的とする）地域医療拠点病院については、現状維持を達成している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

地域医療再生基金や国庫補助を活用し、益田赤十字病院の建替整備への支援や、済生会江津総合病院、益田地域医療支援センター医師会病院における設備整備への支援を行い、医療機能の強化充実が図られた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
  - ・県西部の中核的な病院において、医師不足や施設設備の老朽化等による医療体制への影響が生じている。
- ②困っている状況が発生している「原因」
  - ・県西部における医師の充足率が低いことや施設設備の老朽化。
- ③原因を解消するための「課題」
  - ・医師等の医療従事者の育成と県内定着、各医療機関の診療機能を維持・充実させるための施設設備整備などが課題。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・県西部の各医療圏における地域保健医療医療対策会議などにおいて医療提供体制についての協議を行い、県西部において必要な医療従事者の確保対策や中核的な病院における施設設備整備への支援を行っていく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）